

【子どもの姿】

- 自分の思いや考えを自分なりに表現しようと意欲的に学習に取り組める子がいる。
- 学んだ技（構成や表現の工夫）を使って分かりやすく表現して、他教科・他領域の活動に生かそうとする子が多い。
- 自分の思いを言語化するのが苦手だったり、考えをもてなかつたり、考えをもてても伝えようとしない子がいる。
- 文章を的確に読み取ったり、言葉のもつ意味や働きから表現された内容を読み取り理解し判断したりする力が弱い。
- 課題解決に向けて相手の意見と自分の意見を関わらせて話合う力が弱い。

【学校の教育目標】

豊かな心 たくましい力のある子  
 -考える子 仲よくする子 やりぬく子-

【研究主題】

国語科における  
 主体的・対話的に表現する子の育成

【研究仮説】

付けたい力を踏まえて、学習を見通し、ペアやグループで対話する場面をどこに設定するかを考え、主な言語活動を位置付けた指導計画をもとに、単位時間における指導の工夫をすれば、文を正確に読み取り、表現する力を身に付けて伝え合う力を高め、他教科・他領域でも生かそうとし、主体的・対話的で深い学びの実現を図ることができる。

【目指す姿】

- ・自分の思いや考えを根拠をもって表現することができ、仲間と伝え合って考えを深めることができる。
- ・筆者の思いや考えを読み取り、考えを伝えるための技を生かして、他教科、他領域の学習や活動の場面において表現できる。
- ・文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けることができる。
- ・図書館の利活用を通して、多くの文章に触れたり、国語辞典の活用を通して、意味を調べたりすることで、語彙力を高めることができる。

研究内容 1 主な言語活動を位置付けた単元指導計画の工夫	研究内容 2 題解決型学習における単位時間の指導の工夫
<p>(1) 『意欲、見通し』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 付けたい力を明確にする</li> <li>イ 出口の見通しをもたせる導入を工夫する</li> </ul> <p>(2) 『文学的文章や説明的文章の読解』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 登場人物の性格や気持ちを想像したり説明的文章の内容を読み取ったりする</li> <li>イ 筆者の技（構成や表現の工夫）を見つける言語活動を位置付ける</li> </ul> <p>(3) 『表現』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 調べたことをまとめたり、物語文を読んで感じたことや想像したりしたことなどを表現する</li> <li>イ 読み取った筆者の技（構成や表現の工夫）を生かして、自分の考え・感想を作品に表現し、伝え合う場を位置付ける</li> <li>ウ 単元を通して、自分の考えや作品のよさに気付く評価を工夫する</li> </ul>	<p>(1) 活動の見通しと意欲をもてる導入の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 前時との関連を図る</li> <li>イ 単元名に記された指導事項を学習課題として位置付ける</li> <li>ウ 必然性のある課題を設定する</li> </ul> <p>(2) 読み取る力を付けるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 語彙を確かに理解するための言語活動を位置付ける</li> <li>イ 根拠を明らかにした話し合い活動を設定する</li> <li>ウ ねらいに迫る『深め』の発問を工夫する</li> </ul> <p>(3) 学びが実感できる評価の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア キーワードを使ったまとめを位置付ける</li> <li>イ 自分の学びや高まりを自覚できる評価を工夫する</li> </ul>

研究内容 3 言葉の力を高める言語環境の充実

- (1) 図書館活動の充実
- ・読書生活の充実（推薦図書10冊・本の紹介・読書サークルや母親委員の方による読み聞かせなど）
  - ・学習に役立つ図書や資料のリストと活用
- (2) 確かな「読みの力」を育む継続的な指導
- ・国語辞典の活用（3年～6年）
  - ・「説明文の読み方」の指導 ・説明文の技カード（構成や表現の工夫）の活用
  - ・「物語的文章の読み方」の指導
  - ・全校ブックトークの指導 ・毎日10分読書の宿題 ・毎朝5分の全校読書
- (3) 自分の考えを表現する場における指導の充実
- ・話し方の話型を示す・意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめる話し合い活動の進め方の話型を示す
  - ・語彙を増やすための「言葉の宝箱」の活用
  - ・毎週の宿題とする日記に技や「言葉の宝箱」を使えたか意識できるカードの活用と見届け
  - ・国語科「説明文の読み方」で学んだことを他教科（生活科や総合的な学習）や他領域で活用する場の設定
  - ・帰りの会の振り返りの対話交流 ・週1回朝活動の対話タイム

